

ショウガの畝と植え付け

NPK= 20-20-20, 追肥 NK=5-5 3回、畝幅 70 cm 株間 15-20 cm

1. 70 cmの畝幅の最初に1番畝の中心35 cmを計り、次の畝の中心は70 cmごとに計ってゆくようにすると測量作業がはかどる。畝の中心線にダンポールを打ち、植え付け予定の畝数の畝の中心を全て測量する。5月中旬までには植え付けが完了するように準備しておく。
2. 3人一組で、2人が手前と奥に立ち中心線を結ぶように線引きをする。1人が支えに使う杖に長い棒(鋤を逆さに使ってもよい)を持って、畝の中心線の上に足跡をつけて歩く。次ぎ、次と畝の中心線に足跡をつけてゆく。
3. 足跡をつけた上を鋤の幅くらいで10 cmほどの深さに直線に溝を掘ってゆく。
4. オールミックス(N-P-K=12-13-8)を畝1mあたり160gを各畝にすじまきにする。
ミックス堆肥を1mあたり400-500gをすじ撒きする。
耕耘時点に元肥が撒かれていない場合は 硫Mg、BM重焼燐、畑のカルシウムをそれぞれ1mあたり30g(合計90g)くらいとなるような混合元肥を舟などで必要分用意して同時に施肥する。
5. 施肥後、肥料と土とを棒を使って溝の中を軽く引きまわして良く混ぜるように歩く。
6. 5 cmほど合い土を溝全体にかぶせ、種ショウガを15-20 cmくらいの間隔で揃えて、芽を上向きにして溝に直角に地面につけるように並べてゆく。
7. 種ショウガの上に覆土軽く寄せて台形の小山をつくる程度に畝を仕上げ、畝の中心部分の土を軽く整える。種ショウガは7-8 cmくらいの深さで、あまり深くしてはいけない。少し高畝状態がよい。
8. 畝の中心線をイメージしながら、鋤で軽く押し付け、荒らしてしまった畝間を鋤などで軽く整地しておく。水撒きは必要ない。
ショウガは乾燥に弱いので梅雨明けに根元に藁を敷きます。乾き過ぎたら灌水します。
9. 追肥、1回目は草丈が15 cm位の時、2回目は草丈30-40 cmの時、3回目は2回目の30日位後に、NK化成(18-0-8)100g/m、畝に沿っての両側に行き渡るように、除草を兼ねた土寄せを行う。

